

日本フィルハーモニー交響楽団
東北の夢プロジェクト2026

楽しい

オーケストラ

オーケストラと子どもたちの夢舞台

in 岩手

第1部

舞踏会へようこそ!

- ◆ チャイコフスキー:
歌劇《エフゲニー・オネーギン》より
「ポロネーズ」
- ◆ J.シュトラウス2世:美しく青きドナウ

第2部

バレエとオーケストラの世界

- ◆ チャイコフスキー:
バレエ《くるみ割り人形》
(日本フィル夏休みコンサート2026版)

第3部

子どもたちのステージ

- ◆ 盛岡市立山岸小学校 合唱クラブ
- ◆ なもみ太鼓の会 (野田村)

第4部

みんなで歌おう

- ◆ にじ
(新沢としひこ・作詞、中川ひろたか・作曲)
- ◆ 勇気100%

2026年8月6日(木)

15時30分開演 [14時45分開場]

盛岡市民文化ホール 大ホール
(マリオス)

出演

指揮: 園田 隆一郎

お話とうた: 江原 陽子

バレエ: スターダンサーズ・バレエ団

バレエ振付・演出: 鈴木 稔

管弦楽: 日本フィルハーモニー交響楽団



©山口敦



©井田裕基

チケット料金 [全席指定・消費税込]

大人: **3,000円** 子ども: **1,500円** (4歳~高校生以下)

※4歳未満は入場できません。チケットはお一人一枚ご用意ください。
※出演者、曲目等は変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

◆主催: 東北の夢プロジェクトin岩手 実行委員会

(日本フィルハーモニー交響楽団、岩手県、岩手日報社、岩手県芸術文化協会)

- ◆共催: 盛岡市、盛岡市文化振興事業団、IBC岩手放送 ◆協賛: 全国保証株式会社、株式会社東北博報堂
- ◆後援: 復興庁、岩手県文化振興事業団、岩手県教育委員会、盛岡市教育委員会、野田村教育委員会
- ◆特別協力: 音楽文化の未来を創造するプロジェクト | 公益財団法人上廣倫理財団
- ◆協力: 岩手銀行、岩手県合唱連盟、岩手県洋舞協会、杉並区

お問い合わせ 岩手日報社事業部 019-653-4121 (平日 9:00~17:00)

◆プレイガイド

- ・ローソンチケット
<https://l-tike.com> (Lコード: 21666)
- ・日本フィルeチケット)
[席を選んでお申込みできます]
<https://eticket.japanphil.or.jp>
- ・盛岡市民文化ホール ・盛岡劇場
- ・キャラホール ・姫神ホール
- ・盛岡市文化振興事業団インターネットチケットサービス
<https://p-ticket.jp/mfca>
- ・オンラインストア [今日も、岩手を元気にする。岩手日報ストア]
<https://iwate-np.stores.jp>
- ・岩手日報社事業部 ・フェザン

5月21日(木)
発売



日本フィル
eチケットは
こちらから

楽しいオーケストラ in 岩手

東北の子どもたちの「夢」を応援

15年以上にわたり被災地に音楽を届け続けてきた日本フィルと、東北地方で続く郷土芸能や子どもたちの文化活動がひとつのステージに！オーケストラ、バレエが織りなす豊かな音色、子どもたちの真剣な眼差し、そしてみんなの笑顔が輝く夏の“夢舞台”にどうぞご期待ください。



《指揮》 園田 隆一郎 SONODA Ryuichiro

2006年、シエナのキジアーナ夏季音楽週間「トスカ」を指揮してデビュー。翌年、藤原歌劇団《ラ・ボエーム》を指揮して日本デビュー。同年ロッシェニ・オペラ・フェスティバル《ランスへの旅》のほか、トスカーナ管弦楽団、ベッリーニ大劇場管弦楽団との演奏会を指揮。その後国内外のオペラへの出演、オーケストラとの共演を重ねている。第16回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第73回芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。パシフィックフィルハーモニア東京 指揮者。藤沢市民オペラ芸術監督。



《お話をうた》 江原 陽子 EBARA Yoko

東京藝術大学声楽科卒業。4歳より公益財団法人ソルフェージュスクールにてピアノを始め、ソルフェージュ、作曲、室内楽等音楽の基礎を同校で学ぶ。大学在学中より4年間、NHK「うたって・ゴー」に歌のおねえさんとしてレギュラー出演。1991年より日本フィルハーモニー交響楽団「夏休みコンサート」に歌と司会で出演する他、東京都響、東京シティ・フィル、仙台フィル、九響等の音楽鑑賞教室やコンサートの司会を務める等、クラシックコンサートのナビゲーターとしても活躍している。親子で穏やかなひとときをと、絵本の読み聞かせコンサートも各地で開催。洗足学園音楽大学教授／(公財)ソルフェージュスクール講師

スターダンサーズ・バレエ団 Star Dancers Ballet

太刀川瑠璃子を代表として1965年に創設。1981年に日本のバレエ団として初の財団法人化を果たした。創立当初からナショナルバレエの創造を活動の柱とし、日本人振付家による数々のオリジナル作品を生み出す一方、海外の優れた振付家の作品紹介にも力を注ぎ、古典から現代作品まで日本初演作品を含む世界水準のレパートリーを保持している。国内公演のほかドイツ、中国、韓国などでの海外公演の実績も多く、2019年にはパリのJapanExpoにおいて「バレエ・ドラゴンクエスト」を上演し好評を博した。また、学校巡回公演やワークショップを通して子どもたちがバレエに触れる機会を幅広く提供しているほか、障がいのある方が気軽に鑑賞できるリラクスパフォーマンスや、パーキンソン病患者のためのダンスプログラムに取り組むなど、社会と広くかかわる活動も積極的に行っている。2025年に創立60周年を迎えた。



©Kiyonori Hasegawa

《子どもたちのステージ》

盛岡市立山岸小学校 合唱クラブ



山岸小学校は音楽活動が盛んで、校舎には歌声が美しく響いています。合唱クラブは全校の歌声のリーダーとして、いつでも言葉と音楽が結びついた情景が浮かぶ合唱をしようと、どの曲も大切に歌っています。お客様が笑顔になれるよう、心を込めて歌います。

なもみ太鼓の会(野田村)



郷土芸能が消えていく中、若者が中心となり昭和63年に創立し、以来、地域の行事をはじめ、県内外のイベントに参加しています。震災、コロナ禍で活動が低迷した時期もありましたが、元気な子供達が一生懸命に太鼓に向かい練習しています。

日本フィルハーモニー交響楽団 Japan Philharmonic Orchestra

1956年6月創立。楽団創設の中心となった渡邊暁雄が初代常任指揮者を務める。2023年9月よりカーチン・ウォンが首席指揮者を務め、その独創性と真摯さに裏付けられた音楽作りが注目されている。近年の高い演奏力と積極的なプログラミングは「21世紀の日本のオーケストラが目指すべき方向を明確に示す」と評価され、2023年度ミュージックバンククラブ音楽賞を受賞した。さらに桂冠名誉指揮者小林研一郎、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、フレンド・オブ・JPO (芸術顧問) 広上淳一という指揮者陣を中心に年間150回を超えるオーケストラ公演を行っている。

芸術性と社会性を両輪とし、「温かさ」「人に寄り添う」土壌を大切にしながら、あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、世界へ音楽の持つ様々な力を社会に活かしていくことを目指している。

東日本大震災の支援活動に対し2022年に第16回後藤新平賞が授与された。

オフィシャル・ウェブサイト <https://japanphil.or.jp>

X (旧Twitter) @Japanphil Instagram @japanphil.official Facebook @japanphil.official



©飯田耕治